

競技会 競技規則

2021年6月 改定

本則の運営に関する一切の事項はかなみスプリングスカントリークラブ(以下ゴルフ場)が決定する。

I.参加規程

1. 参加資格はかなみスプリングスカントリークラブ正会員で、当クラブハンディキャップ取得者とする。
JGAハンディキャップ取得者は、事前に競技委員会に証明書を提示すれば参加できる。
2. 参加申し込みは、競技日の1カ月前より電話もしくは、クラブハウス内フロントにて受付、締め切りは前日の午後3時00分までとする。
ただし、定員になり次第、締め切る。(以降、参加費と同額のキャンセル料が発生する。)
3. 月例競技におけるハンディキャップは半年おき(1月、7月頃)にハンディキャップを更新し、小数点以下を切り捨てたものを使用する。また、スコアを5枚以上提出していれば、仮ハンディでの参加も可能とする。
4. 月例競技会参加費は1,100円、クラブ選手権、シニア選手権参加費は2,200円(予選のみ)とする。

II.スタート

1. 競技参加者は、開始30分前までにフロント受付を済ませた後、スタート10分前までにマスター室前に集合すること。
2. 上記の時刻に遅れた場合、プレーヤーがスタート時刻後5分以内にプレーの用意を整えてスタートホールに到着した場合、最初のホールに2打罰の付加として競技に参加することを認める。
3. スタートの順番は組合せ表の順とし、マーカーはゴルフ場で指定した者とする。

III.競技

1. 18ホールストロークプレーにて行い、ハンディキャップを付して順位を決定する。

同スコアの場合は、ローハンディ、18番ホール（固定）からのカウントバックの順にて順位を決定する。

2. 使用ティーは、事前にゴルフ場が定めたティーとする。男性は青ティー、女性は白ティーを使用する。
3. 競技参加者は、カートに備え付けのナビにスコアを入力、確認し最終ホールスコア入力完了をアテスト完了とする。
4. 競技中、天候の激変または日没等により、競技が続行不可能となった場合は不成立とする。その後の対応については、ゴルフ場で決定する。
5. 遅延プレーについては、ペナルティーがつく場合がある。明らかに2ホール以上、前の組とあけた場合、その組全員に1打罰を付加し、2回目は2打罰を付加することがある。
6. プレー中、ルール及び正しい処置等に疑問がある場合、プレーヤーは罰なしに第2の球をプレーしそのホールを終えることができる。プレーヤーはスコアを提出する前に、ゴルフ場にその旨を報告し、裁定を仰ぐこととする。
7. 本規則に関してどのような疑問点や争点もゴルフ場に意見を求めなければならず、ゴルフ場の裁定は最終である。
8. ゴルフ場は必要に応じて競技規則を改変し、臨時ローカルルールを規定することができる。詳細はその都度プレーヤーに掲示する。
9. 本則およびローカルルールに規定の無い事項はすべてJGAゴルフ規則による。

IV.公式競技会 ローカルルール

1. プレーヤーの行動基準は、規則に従い、全ての罰を適用し、あらゆる面で正直である事。また、全てにおいてプレーファーストを推奨する。この基準に違反した場合は、ゴルフ場が定める罰を受ける。
2. アウトオブバウンズ（OB）の境界は白杭もしくは黄杭をもって標示する。
3. コース内の白杭もしくは黄杭を越えた球（OB）でプレーを続けた場合は、誤所からのプレーとなり2打の罰を付す。さらに打ち直さずにホールアウトし、次のホールのティーショット打った場合は失格とする。
4. 修理地は青杭および白線をもって標示し、プレー禁止の区域とする。
プレーヤーの球やスタンスがこの区域にかかる場合には、プレーヤーは規則14-3による救済を受けなければならない。この違反は2打罰とする。
5. 使用球は、日本ゴルフ協会発行の最新公認球リストに記載されているものでなければならない。（ワンボール制限はありません。）
6. バンカー内の人工物は全て動かさない障害物として、救済を受ける事が出来る。
7. OB区域内にある人工物がプレーの障害になる場合、動かさない障害物として救済を受けることができる。
8. ショートホールにおいて、OBラインを超えた場合は1打付加して指定のドロップエリアからプレーしなければならない。

9. パッティンググリーン付近で、球がジェネラルエリアにある場合、動かさない障害物がパッティンググリーンから1クラブレングス以内であり、かつ球からも1クラブレングス以内の範囲にあり、しかもプレーの線上にかかっているときは、プレーヤーは次のような救済を受ける事が出来る。

a. ホールに近づかず

b. 障害物の介在が避けられ

c. ハザード内でもパッティンググリーン上でもない場所で

球のあった箇所に最も近いところにプレースしなければならない。拾い上げた球はふくことができる。

10. パッティンググリーン上では、パター以外のクラブの使用を禁止する。この違反は2打罰とする。

11. プレーヤーはプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。

これに違反して練習ストロークをした場合、競技者は次のホールで2打罰を加えなければならない。ただし、そのラウンドの最終ホールのときは、競技者はそのホールで罰を受ける。

また、ハーフターン待ち時間の「指定練習グリーン」におけるパッティング練習は認める。ハーフターン時の打撃練習場の使用は不可とし、使用した場合は2打罰とする。

12. プレーヤーは残りの距離やホールのレイアウトを確認する目的で、電子機器を使用することができる。

ただし、高低差や風を測定出来るものは認めない。それらの機能を切替により使用できなくなる機器については、スタート前に申告し機能を切る事によって使用できる。

これにより得た情報の交換はアドバイスとならない。また、これを使用、操作するためにプレーを不当に遅延させてはならない。

この違反は、1回目は2打罰、2回目は失格とする。

*OBの場合、前進してのストロークや、最大スコアについては、当競技会では採用しない。

かなみスプリングスカントリークラブ